

## 財務状況を全般的に説明する資料

### ◆ 事業活動収支計算書の予算対比について

教育活動収支の収入は2,711千円の減となり、内訳は、学生生徒等納付金28,305千円の減、手数料3,062千円の増、寄付金842千円の増、経常費等補助金20,559千円の増、付随事業収入18,850千円の減、雑収入19,978千円の増です。経常費等補助金の増は、主に保育園の収入増によるものです。

教育活動収支の支出は210,120千円の減となり、内訳は、人件費191,068千円の減、教育研究経費19,166千円の減、管理経費485千円の減、徴収不能額等600千円の増で、人件費の節約が主な要因となっており、結果、収支は207,408千円マイナス幅が縮小しました。

教育活動外の収入は11,814千円の増で、主要因は収益事業収入9,810千円の増です。

教育活動外の支出は61千円の減となり、結果、収支は11,876千円マイナス幅が縮小しました。

特別収支の収入は188,221千円の増となり、主要因は現物寄付185,834千円の増です。

特別収支の支出は2,980千円の減となり、内訳は主に保険解約差額の2,900千円で、結果、収支は191,201千円の増となりました。

基本金組入前当年度収支差額は410,486千円の増となりました。

基本金につきましては、基本金組入額107,013千円の増です。

### ◆ 事業活動収支計算書の前年度対比について

教育活動収支の収入は366,067千円の増となり、内訳は、学生生徒等納付金333,584千円の増、手数料9,939千円の増、寄付金8,303千円の減、経常費等補助金5,605千円の減、付随事業入6,387千円の増、雑収入30,065千円の増です。学生生徒等納付金増で特に大きな要因は、吸収合併した名古屋平成看護医療専門学校です。寄付金は特別寄付金が390千円の増で、一般寄付金が9,542千円の減となっています。経常費等補助金は5,604千円の減で、内訳は国庫補助金が22,426千円の減少、都道府県補助金が4,047千円の増、その他補助金等が12,697千円の増等となっています。付随事業収入は6,387千円の増で、内訳は補助活動収入1,998千円の減、附属事業収入10,885千円の増、受託事業収入2,500減です。雑収入の増は主に施設設備利用料の19,099千円の増です。

教育活動収支の支出は812,148千円の増となり、内訳は、人件費315,041千円の増、教育研究経費154,795円の増、管理経費423,545千円の増、徴収不能額等は81,233千円の減で、人件費の内訳は、教員人件費218,027千円の増、職員人件費84,015千円の増、退職金等12,509千円の増です。教育経費の主な内訳は、減価償却費47,631千円増と報酬委託手数料17,206千円増等です。管理経費の主な内訳は、運営損失補填額186,254千円の減、寄付金450,000千円の増、報酬委託手数料27,528千円の増等です。結果、収支は446,081千円マイナス幅が拡大しました。

教育活動外の収入は1,333千円の増となり、受取利息1,597千円の増が主たる要因です。

教育活動外の支出は14,547千円の増で、主な要因は借入金利息13,252千円の増です。結果、収支は13,215千円のマイナス幅拡大となりました。

特別収支の収入は2,532,062千円の増となり、名古屋平成看護医療専門学校の現物寄付2,178,032千円等が主たる要因です。結果、収支は2,534,124千円の増となりました。

基本金組入前当年度収支差額は2,074,828千円の増となりました。

基本金は、昨年度組入額対比 2,244,315 千円増の 2,721,743 千円の組入れとなりました。